

News Release

平成25年10月18日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構

P R T R届出データ過年度比較報告書の公表

NITE（ナイト）[独立行政法人 製品評価技術基盤機構 理事長：安井 至、本所：東京都渋谷区西原]は、化管法^{※1}のP R T R制度に基づき事業者から届出された化学物質の排出・移動量のデータについて、過去9年間（平成15年度～平成23年度）の比較を行った報告書（過年度比較）を平成25年10月18日（金）に公表しました。

1. P R T R制度は、人の健康や生態系に有害なおそれがある化学物質（第一種指定化学物質^{※2}として462物質が対象）について、環境中への排出量及び廃棄物に含まれての移動量を事業者が自ら把握して国に報告し、さらに国は事業者からの報告や統計資料を用いた推計に基づき排出量・移動量を集計・公表する制度で、平成13年4月から実施されています。
2. 主な項目の9年間の変化
各届出事業者の排出削減の努力の結果、9年前と比較して環境へ排出される第一種化学物質は約41%減少しています。具体的な取組は「化学物質の排出削減対策取組事例集」(http://www.prtr.nite.go.jp/data/other_prtr2.html)を参照して下さい。
 - (1) 環境への排出量
 - ① 環境（大気、水域、土壌、埋立）に排出される化学物質の量は9年前と比べて約41%（118, 258トン）減少しています。環境への排出量のうち約90%は大気へ排出されています。【図1参照】
 - ② 大気への排出量が多いのは塗料やガソリンに含まれている化学物質です。排出量上位3つはトルエン、キシレン、エチルベンゼンとなっており、9年前と比べてエチルベンゼンは増加していますが、トルエン及びキシレンは合計で約76, 000トン減少しています。
 - (2) 業種別の排出量
平成23年度に大気への排出量が一番多い業種は輸送用機械器具製造業（自動車、バイク、電車、航空機等を製造する業種）で、化学工業、プラスチック製品製造業が続いています。いずれの業種でも排出量が9年前と比べて約30%以上減少しています。
 - (3) 都道府県別の排出量
環境への排出量が9年前と比べてもっとも減少したのは静岡県で約13, 000トン減少しています。【表1参照】

(4) 届出事業所数

P R T R 制度の対象として届出された事業所^{※3}数は平成 2 3 年度には 3 6, 6 3 8 となり、9 年前と比べて約 1 1 % (4, 4 7 6 事業所) 減少しています。

3. 過年度比較の報告書は以下のウェブサイトよりご覧いただけます。

<http://www.prtr.nite.go.jp/prtr/rep23.html>

4. また、N I T E では、市区町村ごとの排出・移動量やそれをもとに推定した化学物質の大気中濃度を「P R T R マップ」として公表しております。

<http://www.prtrmap.nite.go.jp/prtr/top.do>

※ 1 : 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (平成 1 1 年 7 月 1 3 日法律第 8 6 号)

※ 2 : 具体的な化学物質の名称は http://www.prtr.nite.go.jp/prtr/new_class1.html を参照

※ 3 : 対象業種 (燃料小売業、製造業、電気業、下水道業などの 2 4 業種) に属する常用雇用者 2 1 名以上の事業者のうち、法律に指定された化学物質を一定量以上取扱う事業所

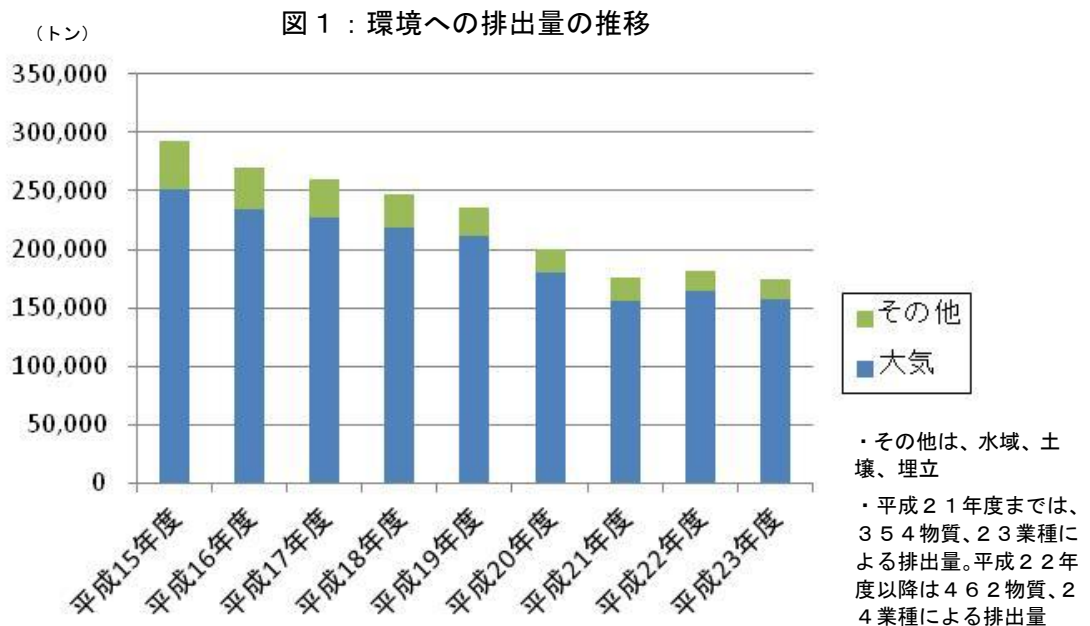


表 1 : 都道府県別削減量

順位	都道府県名	削減量 (トン)
1 位	静岡県	1 2, 9 9 1
2 位	愛知県	1 0, 2 1 2
3 位	秋田県	8, 3 8 4
4 位	埼玉県	8, 1 9 7
5 位	茨城県	6, 3 4 5

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター所長 木井 保夫

リスク管理課 担当者 澤田、宮坂

電話 : 0 3 - 3 4 8 1 - 1 9 6 7

F A X : 0 3 - 3 4 8 1 - 1 9 5 9